

かめやま教育通信

第4回



学習ボランティアさんが大活躍です！

現在、市内の小・中学校では、子どもたちの学校教育活動に大人の目が少しでも行き届くように、また開かれた学校づくりの一環として、多くの学習ボランティアさんを受け入れています。

登下校の見守り、読み聞かせ、花・草刈りなどのボランティアさんや、学習ボランティア(ゲストティーチャーは除く)として57人の地域や保護者の皆さんに、子どもたちの学習を直接サポートしていただいています。



子どもたちが楽しみながら課題に挑戦していくチャレンジステージの実施、授業中の補助など、ボランティアの方法や形態はさまざまです。



お互いに慣れてくると、補充学習に真剣に取り組む子どもたちの姿が見られるようになってきます。



中学校では部活の指導でも活躍いただいています。



学習ボランティアさんを募集しています！

～子どもたちとのふれあいを体験してみませんか～

開かれた学校づくりの一環として、地域や保護者、学生の皆さんの豊富な知識や技能、子育て経験などを積極的に取り入れ、学校教育の一層の充実を図ります。ぜひ、ご協力ください。

問合せ先 教育委員会教育研究室 (☎84-5080)
※校区の小・中学校に直接お問い合わせいただいても構いません。

子育て・ワンポイントアドバイス

～社会を生き抜いていくために、「へこたれない力」を育てましょう～

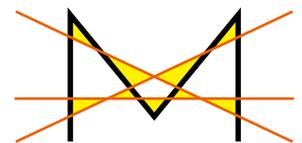
国立青少年教育振興機構が、子どもの頃の体験が育む力などについて調査した結果、社会を生き抜く「へこたれない力」を育てるのに有効な内容を次のとおり提案しています。

- ◎ 基本的な生活習慣が身に付いている
- ◎ お手伝いをよくしている
- ◎ 友達と外遊びや室内遊びをしている
- ◎ 家族と一緒にいることが楽しいと感じている
- ◎ 家族の一員として役に立っていると感じている
- ◎ 家族(大人)から褒められたり叱られたりした経験が多いと感じている(近所の人からは褒められること)など

POINT できるかぎり子どもたちとのふれあいや関わりを増やしつつ、さまざまな体験をさせてあげることが大切です。



広報かめやま6月1日号掲載の「子育て・ワンポイントアドバイス ◎親子で挑戦してみよう！」の正解は下図のとおりです。



※このように3本の直線を引くと9つの三角形が作れます。

問合せ先 <市の教育相談窓口> ※市外局番(0595)

- ・いじめ等の学校生活 教育研究室 (☎84-5077)
- ・子どもの育ちや発達 子ども支援室 (☎83-2425)
- ・青少年の引きこもり 青少年総合支援センター (☎82-6000)
- ・教育行政全般 教育総務室 (☎84-5072)

「亀山市立図書館整備基本構想」(中間案)を図書館ホームページで公開しています。ご意見などがありましたら、Eメールで下記へお送りください。

問合せ先 教育委員会生涯学習室 (☎84-5057)
✉ syougaku@city.kameyama.mie.jp